

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド

コード番号 5331 URL <https://www.noritake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 博

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部 副本部長 兼 財務部長 (氏名) 中村 吉雅 TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	61,915	△0.1	2,690	△29.2	3,715	△25.1	2,814	△31.0
2019年3月期第2四半期	61,961	8.9	3,800	71.0	4,957	56.9	4,077	64.5

(注) 包括利益 2020年3月期 第2四半期 1,415百万円 (△61.5%) 2019年3月期 第2四半期 3,673百万円 (△5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	195.56	—
2019年3月期第2四半期	283.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	148,070	108,009	70.5	7,245.02
2019年3月期	151,773	107,349	68.4	7,219.82

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 104,401百万円 2019年3月期 103,747百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	△3.8	4,500	△39.9	6,600	△32.4	4,500	△53.6	312.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期 2Q	14,842,849株	2019年3月期	14,842,849株
② 期末自己株式数	2020年3月期 2Q	432,715株	2019年3月期	473,049株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期 2Q	14,390,600株	2019年3月期 2Q	14,361,110株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は619億15百万円（前年同期比0.1%減少）、営業利益は26億90百万円（前年同期比29.2%減少）、経常利益は37億15百万円（前年同期比25.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億14百万円（前年同期比31.0%減少）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### (工業機材)

国内では、主要顧客である自動車部品、鉄鋼、ベアリング及び電子半導体業界の生産が低下し、売上げは微減となりました。海外では、欧米や東南アジアで自動車及びベアリング業界の減産や在庫調整の影響を受けて減少しました。中国は鉄鋼分野の生産が高水準で推移し堅調であったものの、海外全体では減少となりました。オフセット砥石などの汎用砥石も、国内及びアジア向けが低迷し、売上げが減少しました。その結果、工業機材事業の売上高は、297億23百万円（前年同期比4.4%減少）、営業利益は3億23百万円（前年同期比68.9%減少）となりました。

#### (セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、国内の車載向け積層セラミックコンデンサ用が堅調に推移しましたが、海外はスマートフォン等の減産の影響を受けて大きく落ち込みました。電子部品材料は自動車、高速通信インフラ用が増加しました。石膏は東南アジアの衛生陶器用が増加したほか、セラミックコアはガスタービン用が堅調に推移しました。蛍光表示管は北米で主要顧客の在庫調整により減少しました。厚膜回路基板と触媒担体は大きく減少し、セラミック原料は低調に推移しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、160億61百万円（前年同期比7.3%減少）、営業利益は12億66百万円（前年同期比39.0%減少）となりました。

#### (エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野で設備投資が活発に行われたことにより売上げは伸長しました。混合攪拌装置は、食品・製紙業界向けが増加しました。濾過装置は、ベアリングや工作機械向けの落ち込みにより、売上げは減少しました。超硬丸鋸切断機は国内向けが低調に推移したため、売上げは減少しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、122億47百万円（前年同期比26.8%増加）、営業利益は14億84百万円（前年同期比24.6%増加）となりました。

#### (食器)

国内市場は、百貨店業界は厳しい状況が続いておりますが、ホテル・レストラン向けが堅調に推移したことから、売上げは増加しました。海外市場は、米国では主要顧客の在庫調整の影響を受けて減少し、欧州・アジアはエアライン向けが低迷したことに加え、スリランカでは4月に発生したテロ事件の影響を受け、売上げは減少しました。その結果、食器事業の売上高は、38億83百万円（前年同期比0.4%減少）、3億83百万円の営業損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計年度末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことに加え、保有株式の株価下落に伴い投資有価証券の時価総額が減少したことから、前連結会計年度末に比べ37億2百万円減少し、1,480億70百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が減少したことから、前連結会計年度末に比べ43億62百万円減少し、400億61百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ6億59百万円増加し、1,080億9百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ4億89百万円減少し、109億5百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは7億44百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ34億29百万円増加し、44億46百万円となりました。これは主に仕入債務が31億66百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益を37億39百万円計上したこと及び売上債権が36億98百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ7億66百万円増加し、37億2百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得により34億23百万円支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ27億73百万円減少し、11億61百万円となりました。これは主に短期借入金の返済により2億27百万円減少したこと及び配当金の支払額が7億30百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、本日(2019年11月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて記載のとおり、2019年5月9日に公表いたしました通期業績予想値を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,076	13,762
受取手形及び売掛金	31,156	27,613
電子記録債権	4,325	4,124
商品及び製品	9,409	10,249
仕掛品	6,536	5,902
原材料及び貯蔵品	5,503	5,474
その他	1,684	1,834
貸倒引当金	△21	△38
流動資産合計	72,671	68,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,894	16,611
その他（純額）	24,695	26,561
有形固定資産合計	41,590	43,172
無形固定資産	1,188	1,179
投資その他の資産		
投資有価証券	33,336	31,979
退職給付に係る資産	1,759	1,678
その他	1,342	1,258
貸倒引当金	△116	△121
投資その他の資産合計	36,323	34,794
固定資産合計	79,101	79,146
資産合計	151,773	148,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,250	11,204
電子記録債務	8,622	7,486
短期借入金	3,456	3,235
1年内返済予定の長期借入金	348	324
未払法人税等	1,526	925
賞与引当金	1,619	1,612
設備関係支払手形	569	1,042
営業外電子記録債務	577	485
その他	5,049	4,970
流動負債合計	35,018	31,288
固定負債		
長期借入金	975	920
引当金	512	462
退職給付に係る負債	1,795	1,795
その他	6,122	5,593
固定負債合計	9,405	8,772
負債合計	44,424	40,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,751	18,849
利益剰余金	60,800	62,884
自己株式	△1,190	△1,214
株主資本合計	93,994	96,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,038	10,800
為替換算調整勘定	△3,198	△3,387
退職給付に係る調整累計額	913	836
その他の包括利益累計額合計	9,753	8,249
非支配株主持分	3,602	3,607
純資産合計	107,349	108,009
負債純資産合計	151,773	148,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	61,961	61,915
売上原価	45,052	45,833
売上総利益	16,908	16,081
販売費及び一般管理費		
販売費	8,981	9,114
一般管理費	4,126	4,276
販売費及び一般管理費合計	13,108	13,391
営業利益	3,800	2,690
営業外収益		
受取利息	58	67
受取配当金	366	428
受取賃貸料	213	220
為替差益	84	—
持分法による投資利益	458	406
その他	113	108
営業外収益合計	1,294	1,231
営業外費用		
支払利息	19	11
為替差損	—	75
固定資産賃貸費用	74	79
その他	43	40
営業外費用合計	137	207
経常利益	4,957	3,715
特別利益		
固定資産売却益	152	3
段階取得に係る差益	49	—
PCB処理費用戻入益	—	68
その他	4	—
特別利益合計	206	72
特別損失		
固定資産処分損	70	42
その他	12	4
特別損失合計	83	47
税金等調整前四半期純利益	5,080	3,739
法人税、住民税及び事業税	936	762
法人税等調整額	△38	88
法人税等合計	898	850
四半期純利益	4,181	2,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,077	2,814



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,181	2,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	△1,239
為替換算調整勘定	△622	△163
退職給付に係る調整額	48	△78
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	7
その他の包括利益合計	△507	△1,473
四半期包括利益	3,673	1,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,640	1,310
非支配株主に係る四半期包括利益	33	105

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,080	3,739
減価償却費	1,978	2,157
段階取得に係る差損益 (△は益)	△49	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	23
退職給付に係る負債及び資産の増減額	2	△40
引当金の増減額 (△は減少)	△35	△49
受取利息及び受取配当金	△424	△495
支払利息	19	11
持分法による投資損益 (△は益)	△458	△406
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	1	—
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	△81	38
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,267	3,698
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△364	△237
仕入債務の増減額 (△は減少)	△903	△3,166
その他	△59	223
小計	3,443	5,497
利息及び配当金の受取額	424	495
利息の支払額	△19	△11
法人税等の支払額	△2,832	△1,535
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,016	4,446
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,668	△3,423
有形及び無形固定資産の売却による収入	190	19
投資有価証券の取得による支出	△12	△13
投資有価証券の売却による収入	27	0
貸付けによる支出	△102	△31
貸付金の回収による収入	45	38
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△17	—
定期預金の預入による支出	△1,451	△1,872
定期預金の払戻による収入	1,490	1,657
その他	△436	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,935	△3,702
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△134	△227
長期借入金の返済による支出	△3,146	△78
自己株式の売却による収入	0	243
自己株式の取得による支出	△9	△245
配当金の支払額	△584	△730
その他	△61	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,935	△1,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	△72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,974	△489
現金及び現金同等物の期首残高	16,087	11,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,112	10,905

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	31,080	17,323	9,659	3,897	61,961
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,038	2,076	1,191	△505	3,800

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「工業機材」セグメントにおいて、第1四半期連結累計期間に日本フレキ産業株式会社の株式を追加取得したことに伴い、のれんを52百万円計上しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	29,723	16,061	12,247	3,883	61,915
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	323	1,266	1,484	△383	2,690

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

## 【ご参考】 2020年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

### 1. 当期連結業績の概要

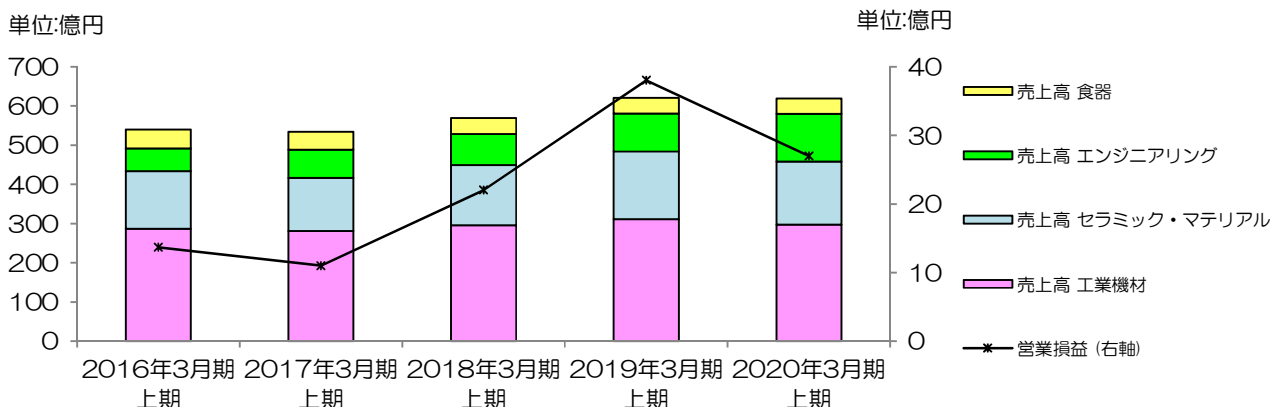
<b>【業績】</b>
売上高 619億円（前年同期比 0.5億円減収） 為替により、売上高 0.3億円減少（US\$ 1.5円円安、EUR 6.6円円高、THB 0.1円円安等） 営業利益 27億円（前年同期比 11億円減益） 経常利益 37億円（前年同期比 12億円減益） 親会社株主に帰属する四半期純利益 28億円（前年同期比 13億円減益）
<b>【連結の範囲】</b>
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
<b>【特別損益】</b>
特別利益 0.7億円：PCB処理費用戻入益 0.7億円等 特別損失 0.5億円：固定資産処分損 0.4億円等
<b>【中間配当金】</b>
中間配当 50円／株（前期中間40円／株） 期末配当50円／株 予定（前期末50円／株）

#### (1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	287	281	295	311	297	△ 14
	セラミック・マテリアル	147	136	154	173	161	△ 12
	エンジン・アプリケーション	58	72	79	97	122	25
	食器	49	46	41	39	39	△ 0
		540	534	569	620	619	△ 1
営業利益	工業機材	7.2	2.8	8.1	10.4	3.2	△ 7.2
	セラミック・マテリアル	7.6	7.8	13.6	20.8	12.7	△ 8.1
	エンジン・アプリケーション	1.4	4.1	6.0	11.9	14.8	2.9
	食器	△ 2.5	△ 3.6	△ 5.5	△ 5.1	△ 3.8	1.3
		13.7	11.0	22.2	38.0	26.9	△ 11.1
(売上高営業利益率)		(2.5%)	(2.1%)	(3.9%)	(6.1%)	(4.3%)	-
経常利益		19.8	18.5	31.6	49.6	37.2	△ 12.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益		23.9	9.7	24.8	40.8	28.1	△ 12.7
1株当たり四半期純利益		166.76円	67.26円	172.64円	283.92円	195.56円	-
1株当たり純資産		5,538.75円	5,231.82円	6,068.26円	7,147.09円	7,245.02円	-
US\$ 為替レート		120.5円	111.8円	112.1円	108.5円	110.0円	-

売上高及び営業損益の推移（2016年3月期上期-2020年3月期上期）



**(2) 設備投資及び減価償却費**

(単位：億円 四捨五入)

	2019年3月期 上期		2020年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	7	10	14	10
セラミック・マテリアル	13	4	19	5
エンジニアリング	0	1	1	1
食器	1	2	1	2
管理部門	4	3	2	3
合計	25	20	37	22

**(3) 有利子負債**

(単位：億円 四捨五入)

	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2019年9月	対前期比
有利子負債	282	231	131	48	45	△ 3
現金及び預金	107	113	185	141	138	△ 3
ネット有利子負債	175	119	△ 54	△ 93	△ 93	△ 0

**2. 2020年3月期の予想****(1) 重点施策****【工業機材事業】**

- 中国、タイ、北米などの海外生産拠点の増強と、販売拠点の新設や他社との協業による海外市場の開拓を進め、グローバルな事業体制を構築します。
- 商品競争力の強化により、自動車・鉄鋼・ベアリングといった重点分野でのシェア拡大を図るとともに、自動車の自動運転・電動化、IoTなどに対応した新商品開発により、新分野、拡大分野での市場獲得を進めます。
- グループ会社を含めた国内販売拠点の再整備を行い、効率的な販売・物流体制を構築します。

**【セラミック・マテリアル事業】**

- 電子ペースト事業では、高速通信などの最先端の電子部品に対応した商品開発を推進し、国内外の重要顧客でのシェア拡大を図るとともに、海外での新規顧客の開拓を進めます。
- セラミックス事業では、石膏とセラミックコアの生産能力の増強と海外市場の開拓、触媒担体の性能改良と次世代商品の開発、中小型表示機・タッチスイッチの食品製造装置などの新市場開拓を推進します。
- 電子部材は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強によるシェア拡大や新商品開発に取り組みます。

**【エンジニアリング事業】**

- 次世代電池などのエネルギー分野、自動車分野、エレクトロニクス分野での新商品・新技術開発と新用途開拓による拡販を進めます。また、新素材や化粧品など新しい分野への参入と新用途展開に取り組みます。

**【食器事業】**

- 国内では、流通販路や直営店の再整備、ネット販売の強化、ホテル・レストラン向けの業務用食器の販売強化を図ります。海外では、新商品の投入などによる米国市場の収支改善と、成長が期待されるアジア市場の販売拡大を推進します。

**【設備投資金額】**

設備投資 80億円 減価償却費 45億円

**(2) 業績予想**

(単位：億円 四捨五入)

	2019年 3月期	2020年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	632	297	308	605	△ 27
	セラミック・マテリアル	348	161	159	320	△ 28
	エンジニアリング	193	122	88	210	17
	食器	85	39	36	75	△ 10
		1,258	619	591	1,210	△ 48
営業利益	工業機材	23.3	3	6	9	△ 14
	セラミック・マテリアル	36.9	13	9	22	△ 15
	エンジニアリング	22.3	15	8	23	1
	食器	△ 7.7	△ 4	△ 5	△ 9	△ 1
		74.8	27	18	45	△ 30
経常利益	97.6	37	29	66	△ 32	
親会社株主に帰属する当期純利益	97.1	28	17	45	△ 52	

(下期想定為替レート US\$=105円)